

◇1年生2クラスが県議会を傍聴、併せて高校教育課を訪問しました◇

9月6日（金曜日）、1年生の1組（機械科）・4組（建築技術科）の生徒67名が、茨城県議会の傍聴をおこないました。

午前中は県庁舎の見学。小学生の時に訪れている生徒も多いのですが、いばキラTVやバーチャル YouTuber 茨ひよりというキャラクターなど現代的な要素が増えており、高校生感性に響くものがあったようです。

その間、代表生徒4名が、中澤校長と共に高校教育課を訪問しました。代表1名が、県議会傍聴という貴重な体験の機会を頂いたお礼を述べ、「私たちの身近な生活に関わる政策決定の過程を理解し、近い将来に有権者となる自覚を育みたい」と決意を表明しました。また訪問のお礼として、ネジをデザインした布バッグと、各科の技術を生かしてつくった作品をプレゼントしました。

事務局の方から「県議会の概要」と「質問の概要」、「傍聴の注意事項」等の説明を受けたあと、いよいよ傍聴席へ。初めての体験とあって緊張気味の生徒もいましたが、議場に入ってくる議員さんの中には傍聴席を見上げて挨拶をしてくださる方もおり、元気よく“こんにちはー！”と返していました。

議員さんからは、〈サイクリング王国いばらきの実現に向けた推進体制について〉、〈常総市の夜間中学設置に向けた支援〉、〈小中学校における英語教育の推進〉、〈あおり運転対策の強化について〉などの質問があり、身近な課題であるため生徒達も関心をもって質疑とそれに続く答弁を聞くことができたようです。またつくば工科高校の生徒が傍聴に訪れていることも紹介していただきました。

記録用紙の感想には、「私たちが今まで安全・健康でいられたのは県議会の話し合いのおかげもあるのかと思いました」「身近な問題を話し合っていることがわかった」「18歳になったらぜひ選挙に行きたい」等の記述があり、“主権者となる自覚を育む”という目的をもっておこなった県議会傍聴は、一定の成果を上げることが出来たのではないかと思います。

